

いつまでも 心に残る 思い出を!

～ふれあいの船 北海道体験学習～

市内の小学6年生を対象とした「ふれあいの船」がA班（7月22日～26日）159人、B班（7月29日～8月2日）130人で実施されました。4泊5日の共同生活をとおして、児童は友達と協力することの大切さや思いやりの心を学ぶとともに、夕張市の皆さんとのふれあいや北海道十勝地方の大自然に触れ、普段の生活では味わえない貴重な体験をしました。

1日目 大洗港から北海道を目指し出航!

西部体育館サブアリーナで出発式を行った後、大洗港からフェリーに乗り込み出航です。

初めての船旅、そして家族と5日間離れての生活に不安を感じながらも、元気に「行ってきます!」と手を振り出発しました。

2日目 北海道到着!

船内では、ブリッジ（操舵室）を特別に見学しました。船長や船員の方から、船に関わる機械などの説明を受けることができました。船旅を終え、夕張市に向かい石炭博物館で炭鉱の歴史や当時の生活などを博物館ガイドさんに教えてもらいながら学習しました。夜には夕張市の皆さんとのふれあいタイムで、夕張市についてたくさん学びました。



▲操舵室から海を眺める児童

3日目 十勝地方で酪農、大自然を満喫!

乳牛を飼育している藤田ファームでは、牧場スタッフから乳牛の説明を受けたあと、搾乳体験やバター作りを行いました。間近で見る牛に、はじめは怖がっている児童もいましたが、勇気を出して触れたり、搾乳をしました。

ナイタイ高原は日本一広い公共牧場ということもあり、北海道らしい広大な景色と牛たちがのんびりと暮らす牧歌的な景色を見ることができました。



▲搾乳体験



▲作ったバターを食べました



▲ナイタイ高原

4日目 北海道最終日!

午前、札幌市内を班別で行動しました。北海道庁旧本庁舎をスタートし、各班で名所を回りテレビ塔に集合しました。その後、羊ヶ丘展望台でジンギスカンを食べ、北海道最後の研修先、北海道博物館に行きました。北海道博物館は、北海道の自然や歴史、文化などさまざまなものが展示されていて、北海道についてより深く学ぶことができました。

その後、苫小牧港から大洗港に向け出港しました。



▲班別行動

5日目 大洗港に到着! 常陸大宮市で解散式

船酔いをした児童もいましたが、みんなで助け合い乗り越え、下船。5日間で仲間との絆も生まれました。

解散式を行い、お世話になった引率の方々にみんなで感謝を伝えました。児童たちは、たくさんのお土産話を持ち帰ることができたようです。

■問い合わせ■ 生涯学習課 生涯学習グループ ☎ 52-1111(内線335)